

臨床研究 研究事例

令和4年度

審査日	承認番号	所属	責任者	研究名	お知らせ
令和4年4月21日	2022-001	リハビリテーション科	浪越 啓史	内側開大式楔状高位脛骨骨切り術後4ヶ月でテニス動作が可能となった高齢女性の1症例	
令和4年4月21日	2022-002	リハビリテーション科	木村 亮太	糖尿病理学療法への発展に資する大規模データベースの構築事業 日本糖尿病理学療法学会の主導による多施設共同研究	
令和4年4月21日	2022-003	リハビリテーション科	木村 亮太	廃用症候群患者における上腕周囲長とADL推移との関連	
令和4年6月16日	2022-004	リハビリテーション科	浪越 啓史	転倒により入院した高齢者の退院後生活空間に影響する要因	
令和4年8月4日	2022-005	看護部	高橋 好美	手術患者が安全に手術を受けるための術前オリエンテーション内容の意識調査～装飾品の認識統一を目指して～	
令和4年8月4日	2022-006	看護部	小西 朋子	新型コロナウイルス感染症病棟の看護師が考える新型コロナウイルス感染症看護の専門性	
令和4年8月4日	2022-007	看護部	喜田 文子	地域包括ケア病棟で身体拘束中の認知症患者に対し筋力およびROM訓練やレクリエーションの導入が与える行動・心理症状(BPSD)の変化	
令和4年8月4日	2022-008	看護部	浅沼 実季	スキンテア予防に対する看護師の意識への働きかけの効果～勉強会実施後のスキンテア発生状況～	
令和4年8月4日	2022-009	看護部	岡田 順子	退院支援強化に向けての取り組み～看護師への実態調査から見える退院支援の現状と課題～	
令和4年8月4日	2022-010	看護部	諸沢 朋子	看護師が術後患者の初回離床及び歩行を開始、見送る判断のプロセスの検討	
令和4年9月22日	2022-011	呼吸器内科	鎌田 啓佑	菌血症に関する抗菌薬早期効果判定モデル作成と多角的解析研究:多施設共同後ろ向きコホート研究	患者様へ
令和5年1月12日	2022-012	循環器内科	山本 雅人	入院を要する高齢者循環器疾患症例のフレイル実態調査	
令和5年3月2日	2022-013	眼科	上 順子	適応外・禁忌医薬品使用申請について(セフトジジム)	
令和5年3月2日	2022-014	眼科	上 順子	適応外・禁忌医薬品使用申請について(バンコマイシン)	
令和5年3月2日	2022-015	眼科	上 順子	適応外・禁忌医薬品使用申請について(ブイフェンド)	
令和5年3月2日	2022-016	眼科	上 順子	適応外・禁忌医薬品使用申請について(ファンギゾン)	
令和6年3月2日	2022-017	呼吸器内科	鎌田 啓佑	菌血症に関する抗菌薬早期効果判定モデル作成と多角的解析研究:多施設共同後ろ向きコホート研究(研究責任者の所属変更に伴う再申請)	患者様へ

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	菌血症に関する抗菌薬早期効果判定モデル作成と多角的解析研究：多施設共同後ろ向きコホート研究
当院の研究責任者 (所属)	琉球大学病院 臨床研究教育管理センター 岩田啓芳
他の研究機関および 各機関の研究代表者	横浜市立大学ヘルスデータサイエンス専攻 金子惇 東京慈恵会医科大学 臨床疫学講座 青木拓也 札幌北辰病院 総合診療科 若林崇雄 大原綜合病院 総合診療科 菅藤賢治 神栖済生会病院 内科 濱田修平 東京高輪病院 感染症科 鎌田啓佑 横浜保土ヶ谷病院 総合診療科 八百壮大 聖隷浜松病院 総合診療科 本田優希 洛和会音羽病院 感染症科 井村春樹 鳥取県立中央病院 総合内科 遠藤功二 愛媛県立中央病院 感染症科 本間義人 長崎医療センター 総合内科 永井友基
本研究の目的	菌血症を罹患された患者さんにおける抗菌薬の効果や余命などに与える因子など、菌血症に関する様々な臨床的影響を調べます。
研究実施期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
調査データ(該当期間)	2018 年 1 月～2022 年 3 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2018 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに、血液培養が陽性でかつ菌血症に罹患し、入院加療を受けた患者様 ●利用する試料・情報 診療録（カルテ）を使用し、入院された患者様の身長・体重・基礎疾患などの入院時の基本情報から、使用した抗菌薬や原因細菌など入院時の医学的な状態さらには、入院後の治療経過や退院に至るまでの経過・転帰に関する情報を解析致します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	当研究のコホートデータは、対象となる患者様とし匿名にて登録された情報と致します。 収集したデータは、パスワード機能を用いた外部記録デバイス（USB など）を用いて保存・移動し、琉球大学で解析予定です。
試料・情報の二次利用	二次利用の可能性があります、その際には各機関のホームページもしくは院内提示版等で告知を行う。

個人情報の取り扱い	この研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化致します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行うことはありません。対応表は各病院の責任が保管し、機関の間で対応表の授受は行いません。
本研究の資金源 (利益相反)	申告すべき利益相反はございません。
お問い合わせ先	電話：098-895-1195 担当者：琉球大学病院 臨床研究教育管理センター 岩田啓芳
備考	

病院を受診された患者さまへ

北海道大学では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

第 1.2 版

作成日 2022 年 12 月 1 日

研究課題名 (研究番号)	菌血症に関する抗菌薬早期効果判定モデル作成と多角的解析研究：多施設共同後ろ向きコホート研究
北海道大学の 研究責任者 (所属)	北海道大学 環境健康科学研究教育センター 岩田啓芳
他の研究機関および 各機関の研究代表者	横浜市立大学ヘルスデータサイエンス専攻 金子惇 東京慈恵会医科大学 臨床疫学研究部 青木拓也 札幌北辰病院 総合診療科 若林崇雄 大原綜合病院 総合診療科 菅藤賢治 神栖済生会病院 内科 濱田修平 東京高輪病院 感染症科 鎌田啓佑 横浜保土ヶ谷病院 総合診療科 西江龍太郎 聖隷浜松病院 総合診療科 本田優希 洛和会音羽病院 感染症科 井村春樹 鳥取県立中央病院 総合内科 遠藤功二 愛媛県立中央病院 感染症科 本間義人 長崎医療センター 総合内科 永井友基
本研究の目的	菌血症を罹患された患者さんにおける抗菌薬の効果や余命などに与える因子など、菌血症に関する様々な臨床的影響を調べます。
研究実施期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
調査データ(該当期間)	2018 年 1 月～2022 年 3 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2018 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに、血液培養が陽性でかつ菌血症に罹患し、入院加療を受けた患者様 ●利用する試料・情報 診療録（カルテ）を使用し、入院された患者様の身長・体重・基礎疾患などの入院時の基本情報から、使用した抗菌薬や原因細菌など入院時の医学的な状態さらには、入院後の治療経過や退院に至るまでの経過・転帰に関する情報を解析致します。

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	当研究のコホートデータは、対象となる患者様とし匿名にて登録された情報と致します。共同研究病院で収集したデータは、UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のサービスを使い、個人の特定につながらない状態に加工した情報をやり取りします。最終的に集積したデータはパスワード機能を用いた外部記録デバイス（USB など）を用いて北海道大学・共同研究病院間で移動を行います。データは北海道大学並びに共同研究病院で解析予定です。
試料・情報の二次利用	二次利用の可能性があり、その際には各機関のホームページもしくは院内提示版等で告知を行う。
個人情報の取り扱い	この研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化致します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行うことはありません。対応表は各病院の責任が保管し、機関の間で対応表の授受は行いません。
本研究の資金源 (利益相反)	申告すべき利益相反はございません。
お問い合わせ先	電話：011-706-4746 担当者：北海道大学 環境健康科学研究教育センター 岩田啓芳
備考	<u>研究代表者岩田が2022年10月より琉球大学より北海道大学に移動しております。琉球大学から以前告知した研究と同一の研究・内容です。</u>